

お知らせ

INFORMATION

No.2016-09

2016年4月

病体生理研究所

「甲状腺細胞診および乳腺細胞診 判定区分」 変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

現在、甲状腺および乳腺材料の細胞診検査につきましてクラス判定、陰性・疑陽性・陽性、推定組織型をご報告させていただいております。

この度、「甲状腺癌取扱い規約」が、10年ぶりに改訂され第7版が発行され、細胞診分野において判定区分が大幅に変更されました。

当研究所においてもこれを機に甲状腺および乳腺材料においてクラス判定を廃止し、癌取扱い規約に準拠したご報告に変更させていただきます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【判定区分報告の変更について】

- ◆ 細胞診検査報告書・甲状腺材料
- ◆ 細胞診検査報告書・乳腺材料

《変更日》2016年4月16日（土）受付分より

◆ 甲状腺細胞診検査 新判定と旧判定の対比表

(甲状腺癌取扱い規約 第7版 日本甲状腺外科学会編 準拠)

	新判定	旧判定	
標本乾燥などによる標本作製不良や、採取細胞量が少ないなど、細胞診断ができない場合。	検体不適正	判定不能	
嚢胞液で、コロイドや濾胞上皮細胞を含まない場合。	嚢胞液	I or II	陰性
正常甲状腺、炎症性病変で悪性細胞を認めない場合。	良性		
良性・悪性の鑑別が困難で、他の区分に該当しない、診断に苦慮する細胞が見られる場合。	意義不明	III	疑陽性
濾胞腺腫または濾胞癌が推定されるか、あるいは疑われる場合。	濾胞性腫瘍		
悪性と思われる細胞が少数または所見が不十分なため、悪性と判断できない場合。	悪性の疑い	IV	陽性
悪性細胞を認める。	悪性	V	

◆ 乳腺細胞診検査 新判定と旧判定の対比表

(乳癌取扱い規約 第17版 日本乳癌学会編 準拠)

	新判定	旧判定	
標本乾燥などによる標本作製不良や、採取細胞量が少ないなど、細胞診断ができない場合。	検体不適正	判定不能	
正常乳管上皮および腺腫、嚢胞、乳腺炎、脂肪壊死など良性の場合。	正常あるいは良性	I or II	陰性
細胞学的に良・悪性の判定が困難な病変の場合。	鑑別困難	III	疑陽性
悪性と思われる細胞が少数または所見が不十分なため、悪性と判断できない場合。	悪性の疑い	IV	
悪性細胞を認める。	悪性	V	陽性

以上